

平成25年11月20日

保護者様

我孫子市立白山中学校
校長 高橋 秀彦

LINE(ライン)の使用について

秋色づいた葉が風に漂う季節となりました。保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。日頃より本校の教育に対するご支援・ご協力、ありがとうございます。

さて、中高生の中にスマートフォンなどの無料メールアプリ「LINE(ライン)」を使った、「ラインいじめ」が広がっていると新聞やニュース等で報道されています。「グループから強制的に退会させて仲間はずれにする」「自分だけがメッセージを読めないよう設定され、悪口を書き込まれる」などです。個人対個人でやりとりするメールと違い、ラインは使い方を誤ると集団対個人といった、いじめを増長してしまうツールであるともいえます。本校においてもこうした問題は起こっており、その対応や防止に向けて取り組んでいるところです。

ライン以外でも他の掲示版やSNSを使った個人を特定するような悪質な書き込みや画像の流出など、いわゆる「ネットいじめ」が社会問題になっていることは周知の通りです。子どもたちが健全な成長をとげていくために、またいじめの被害者を一人でも出さないためにも、ご家庭におかれましてはお子様の携帯電話やネットの使用状況の確認や情報モラルの育成にご理解とご協力をお願いします。

毎日 JP より

無料通話アプリ「LINE(ライン)」を使った子供同士のトラブルやいじめが深刻化している。メンバーから知らないうちに除外され、突然「仲間」とつながりが断たれたり、グループに入れてもらえなかったりする「LINE外し」などの事例が各地で頻発。悪口やいたずら写真の公開などと合わせ、トラブル相談件数が急増しているといい、情報モラルについての教育が急務になっている。

島根県で学校向けの情報モラル講座を開いているネットいじめ対応アドバイザーの長谷川陽子さんには、トラブルの相談が多数寄せられている。急増したのは昨冬以降。同県の公立中学ではクラスの女子生徒全員で作ったグループから1人だけを外したり、LINEを使っていない生徒を日常生活でも仲間外れにしたりするケースがあった。

別の中学では今年初め、男子生徒が同校の女子生徒の顔写真に自分の裸の写真を合成してLINEで公開。女子生徒はショックで一時不登校になったという。長谷川さんは「部活動の連絡にLINEを活用する場合、LINEを使っていない親子に連絡しないまま放置したり、(気に食わない人を)故意に外したりすることもある」と話す。

